

ProMED-mail 情報 2018年 5月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介しします。FORTH (厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>) に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

	表 題	概 要
29日	ニパウイルス感染症 インド	カルナータカ州ベンガルールでも、2018年5月28日に1例、29日にさらに2例の疑い例が報告。3人はいずれも定期的にケララ州を訪問。発熱した3人からの検体はManipal中央ウイルス研究所に送られ結果待ち。この3人は市内の別々の私立病院で働く看護師で、そこの看護スタッフの多くがケララ州出身。自宅に帰省し、そこから戻る時に発熱と嘔吐が出現。
28日	日本脳炎 台湾	28日市当局は、高雄市林園区において2例の確定患者と1例の疑い例の、日本脳炎ウイルス感染の小集積発生が確認されていると発表。保健省の疾病管理部門は、これらの患者の居住地がおおよそ2km圏内にあることから小集積と定義。7つの養豚場が居住区の近くにあり、当局が100以上のトラップを仕掛けたところ、5月3～27日で32,000匹のアカイエカを捕獲。
25日	ウエストナイルウイルス 感染症 カナダ	ウインザー・エセックス郡保健局からのヒトのウエストナイルウイルス感染例の報告が飛躍的に増加。2014年に1例であったところが昨年には20例。蚊族での検査でも、2014年の1か所から昨年は29か所に増加。今年の West Nile virus (WNV) program は5月22日に開始され、水たまり等への殺虫剤投与、蚊族対策の情報提供、患者サーベイランスなどを実施の予定。
24日	エンテロウイルス 感染症 台湾	22日、台湾保健当局は、重症合併症のあるエンテロウイルス感染の2例が新たに確認されたと発表。気温の上昇に伴ってウイルスの活動性が高まると予想。この2例は新生児男児と3歳女児で、いずれも台湾北部で出生。新生児はエコーウイルス11と診断され重症合併症を併発、現在も入院治療中。3歳女児は、手足口病、ヘルパンギーナ、嘔吐、発熱、ミオクローヌス反射と傾眠傾向が見られたため医療機関を受診しエンテロウイルス71と確認、重症合併症を発症したが回復し退院。2018年はこれまでに7例が確認され、2016と2017年の同時期より多い。
16日	ハンタウイルス感染症 米国	保健当局は15日、グラント郡の住人にハンタウイルス肺症候群(HPS)の症例が確認されたと発表。乗り物の清掃作業中にシカシロアシネズミの排泄物に暴露したと推測。すでに退院し、完全回復を期待。グラント郡での患者発生は6年ぶりで、2012年に別個の事例による2名がHPSで死亡。ワシントン州内では毎年1～5例が報告。
15日	マラリア コスタリカ	2014年時点で米国CDCは、コスタリカへの渡航者にマラリアの感染リスクはないとしていたが、2017年にコスタリカ政府が報告した11例中6例が国内感染例。過去50年間でコスタリカからの発生報告は中米で最低で、2000年以降地域全体の発生率が大きく減少。2012年から2015年の間、国内感染例の報告なし。特に熱帯熱マラリアは少なく(1990年から2012年までに報告された全マラリア症例の0-2%)ほとんどが輸入感染例。
11日	腸管出血性大腸菌 カナダ	米国南西部のロメインレタスが原因で29州で149人が発病したのと同じ遺伝子を持つ腸管出血性大腸菌にカナダ人6人が感染。カナダ公衆衛生局によれば、そのうち2人が発病する前に米国を訪れており、3人はカナダ国内で、残る1人の感染については現在調査中。6人の感染が報告されたのは3月後半から4月半ばにブリティッシュ・コロンビア州とアルバータ州でそれぞれ1例ずつ、サスカチュワン州とオンタリオ州でそれぞれ2例ずつ。1人が入院で死者なし。
10日	ラッサ熱 リベリア	1週間以内にラッサ熱による死亡例2例が発生したことで、マージビ郡保健チームは緊急事態を宣言。56歳男性と35歳女性で、発熱の兆候を示した2018年5月3日から大量の血液を吐き、5月5日にカカタのCH Rennie病院で死亡。50名の接触者を追跡、他と接触しないよう監視。
8日	クリミア・コンゴ出血熱 パキスタン	パンジャブ州で新たな犠牲者。5月に入りムルターン郡で2名死亡。報道によれば感染者6人がNishtar病院に運ばれ1人が死亡、他2名が治療中。感染者はすべて隔離病棟に入院し、血液検体をイスラマバードに送付して確認。ダニ媒介性のウイルス性疾患で、主にベットからヒトに感染。症状は発熱、インフルエンザ様症状、血尿、嘔吐、鼻出血など。
5日	レジオネラ感染症 オーストラリア	2018年4月20日から26日の間に空港西部とグラッドストーンパークショッピングセンターを訪れた3人が発症し、うち2人は集中治療室に入っている。保健当局は原因解明のため、北部郊外の冷却塔を調査中。3人はすべて60歳代と70歳代の男性。前年には40-50例が確認されていたが、2017年は67例とわずかに増加。
3日	ノロウイルス感染 米国・カナダ	ブリティッシュ・コロンビア(BC)州産の生牡蠣によるノロウイルスが流行。カリフォルニア州の約100人が、その生牡蠣を食べた後ノロウイルスの症状が出現したとカリフォルニア公衆衛生局に報告。カナダ公衆衛生局によればBC州ベイネス・サウンドのカキ養殖場4戸からの生カキを食べた後、172人が発症。養殖場は2018年3月23日から4月13日まで閉鎖。
2日	狂犬病 米国	アラバマ州公衆衛生局(ADPH)はアライグマに噛まれた北モンゴメリー(モンゴメリー郡)のチツルム周辺住民2人に狂犬病陽性を確認。2018年4月21-22日に通知を受け、狂犬病ワクチン接種を開始。ワクチンは、この致命的な病気を防御するため必要。モンゴメリー郡保健局は現在、他にアライグマとの接触者がいないか調査中。